2026年11月13日

各 位

会 社 名　　株式会社ベーシック
代表者名　　代表取締役　秋山　勝
（コード番号　519A　グロース市場）
問合せ先　コーポレート部門長　清水　英次
電　　話　　03-3221-0311

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年3月25日に公表いたしました2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年12月期 通期個別業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,734	百万円 450	百万円 434	百万円 334	円 銭 58.66
今回修正予想（B）	2,505	290	270	250	43.86
増減額（B－A）	△229	△160	△164	△84	―
増減率（%）	△8.4	△35.6	△37.8	△25.1	―
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	2,275	270	264	344	68.94

2. 修正の理由

（売上高）

サブスクリプション収益は価格改定等もあり、堅調に積み上がっている一方で、生成AIの普及に伴い、コンテンツ制作等のAIによる代替性が高いソリューションの需要減少が当初の想定を上回るペースで進んでおります。上流の課題解決や新規プロダクトに付随する導入・活用支援への提供価値のシフトを進めているものの、

当期中にその減少を補うには至らない見込みです。これにより、ソリューション収益を中心に、売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

（利益）

売上総利益率は 80%以上の水準を維持し、販売費及び一般管理費も費目間で増減はあるものの計画の範囲内で推移する見込みでありますが、売上高の減少により、営業利益及び経常利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。なお、修正後の業績予想には、不正アクセスへの対応に係る費用及び本日別途公表いたしました株式取得に係る影響の内、個別財務諸表に影響する資金の借入れに伴う支払利息及び手数料等の影響を織り込んでおります。

当期純利益につきましては、2026 年 8 月 28 日開催の臨時株主総会において決議した資本金の額の減少に伴い、繰越欠損金の控除限度額が拡大すること等により法人税等の負担が軽減されることから、前回発表予想からの減少幅は経常利益に比べて小さくなる見込みです。

3. 今後の取り組み

生成 AI の普及に伴う外部環境の変化を踏まえ、当社は、コンパウンド戦略と既存大手顧客の深耕による成長に、より一層の力点を置いてまいります。複数プロダクトの連携提供によるクロスセルや、既存大手顧客への高付加価値・高単価の提案を強化するとともに、本日別途公表いたしました株式取得をはじめとする M&A も活用しながら、持続的な成長の実現に取り組んでまいります。

なお、期末配当予想につきましては、無配から変更はありません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上